

リスクアセスメントの定着に向けて、をテーマに

平成24年度

## 名北労働災害防止大会

開催

事業主、安全衛生担当者、第一線監督者など250名が参加



盛況の名北労働災害防止大会  
(小牧勤労センターにて)

当協会春日井支部・小牧支部は去る3月6日、  
「リスクアセスメントの定着に向けて」をテーマに、名古屋北労働基準監督署、小牧市、春日井市、

小牧商工会議所、春日井商工会議所の後援を得て、28回目となる平成24年度「名北労働災害防止大会」を小牧市の小牧勤労センターで開催した。

同大会には名古屋北労働基準監督署管内の全業種を対象に事業主、安全衛生・労務人事担当者および現場の第一線監督者など約250名が参加した。

最初に当協会宮原小牧支部長の開会の辞、越川名古屋北労働基準監督署長のあいさつがあり、引き続き同監督署 加藤安全衛生課長の「リスクアセスメントについて」と題する安全講話があった。続いて、(株)足立ライト工業所若林総務課長代理より「当社におけるリ

スクアセスメントの取り組みについて」と題して事例発表が行われたのち、ユーモアセラピストの米津さち子氏の「平成の女きみまる」が伝授する笑顔が増えるユーモアコミュニケーション」と題

する特別講演があった。最後に山田春日井支部長の閉会の辞をもって、大会は盛況のうちに幕を閉じた。



挨拶する越川署長



お話しする加藤安全衛生課長



事例発表する若林猛氏



講演する米津さち子氏